



新しいコレクション

1894年、博物館はドイツの「Krantz」から購入した最初の5つのサンプルコレクションを受け取りました。その中には「岩石の組成に含まれる鉱物のコレクション」（185個のサンプル）や「世界で最も大きく、最もおもしろい15個のダイヤモンドのコレクション」や「鉱物の一般的な物理的特性を示すための鉱物サンプルのコレクション」（185個のサンプル）や「宝石レプリカのあるボックス」（60個のサンプル）などがあります。

多くの博物館に含まれるサンプルは、ブルガリアや他の国の科学者から寄贈されたものです。

ようこそ！

ソフィア大学の鉱物・岩石学博物館はブルガリアでの最古の岩石・鉱物コレクションを多数展示しています。博物館の歴史は、ソフィア大学聖クリメント・オフリドフスキの地質学研究に深く関連しており、地質学知見の豊かな基本を表しています。

コレクションの始まり！

ボニバエフ博士が学生から寄贈されたサンプルが、1892年に開館した博物館が最初に保管したコレクションとなりました。学生たちは、460点の鉱物学的・岩石学的サンプルを大学に寄贈しました。

その後数年間で、石や鉱物のコレクションはドイツの「Krantz」、フィンランドの「Petander」、フランスの「Stuard」、ドイツの「Sturtz」、スイスの「Grebel, Wendler and Sie」といったの欧州系貿易から購入されました。



ソフィア大学の
鉱物・岩石学
博物館



一般展示には鉱物セクションに7183サンプル、岩石学セクションに1650サンプル、鉱物資源セクションに1060サンプルが展示されており、科学教育展示には1020サンプル、交流展示には700サンプルが展示されています。これらの展示ごとに、個別のデータベースが作成されています。

ブルガリアと世界の鉱物・岩石の多様性を保存することは、博物館の教育的、科学的、歴史的、文化的使命です。

1944年の空襲後、何度も移転し、高等教育のコンセプトが変化する後、博物館は教育・科学の中心地としてのアイデンティティとイメージを保ち続けています。

これまで120年以上にわたって博物館を支え、寄贈して下さった地質学者の方々に、心より感謝申し上げます。

1892年から1951年の間に、博物館のコレクションはいくつかの建物に移動されました。博物館のコレクションは何度も輸送され、1944年のソフィア爆撃では、貴重なサンプルが失われたり、破壊されたりしました。1951年9月10日以降、学長公舎南館5階で開催されています。

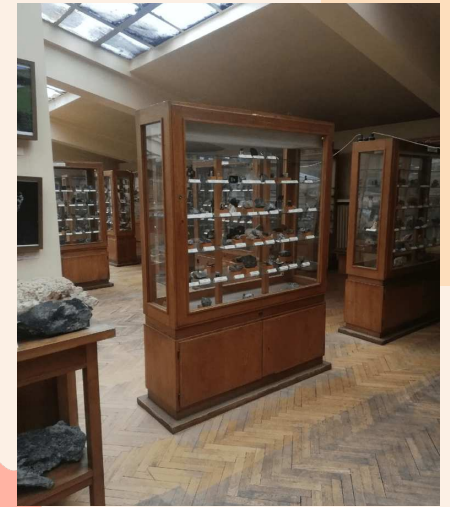
現在は？

現在、博物館は100のガラスショーケースを含む800平方メートルの面積で紹介されています。ショーケースでは、7つの常設展が開催されています。鉱物学、岩石学、鉱床学、結晶学の主な展示は、大学で教えられる現代の分類に基づいて配置されています。

最近、ブルガリアの地域コレクション、遺伝子コレクション、歴史的コレクションが展示に加わりました。

いろいろなサンプルは講演会でもよく使われています。別のショーケースには、ブルガリアで発見された鉱物のホロタイプが展示されています。

これは、「balkanite」や「kostovite」や「strashimirite」や「orpheite」などです。



隕石はどう？

1914年、オーストリアのベルバート教授が14個の隕石サンプルを博物館に寄贈し、ブルガリアの独自の隕石コレクションが誕生しました。現在このコレクションは、ブルガリアで発見された4つの隕石を含む42のサンプルで構成されています。

その後、世界的に有名な鉱物学者や岩石学者、ドーフマン（フェルスマン鉱物博物館、モスクワ）、フィッシャー博士（ベルリン大学）、クルタ博士（モラヴィア大学、ブルノ）、ポヴァレニン教授（キエフ）、スピリドノフ教授（モスクワ大学）などから、いくつかの寄付を受けることになりました。